

2023年9月4日

相模鉄道株式会社 御中

女性専用車両に反対する会

代表 福山 博

副代表 田中 まこと



意見書

拝啓 貴社益々ご盛栄のことと、お喜び申し上げます。

さて、当「女性専用車両に反対する会」（以降、「当会」）では、主に以下の観点から貴社を含む鉄道事業者（公営を含む）において導入されている「女性専用車両」に反対する活動を行っております。

- 本来、公共交通機関の原則として同一料金を支払っている乗客へは同一のサービスを公平に提供すべき（協力をお願いをするならば全員にすべき）であるが、その原則を担うインフラ事業者としての認識が希薄である。
- 「女性への性犯罪や迷惑行為等の防止のため」として導入されている当該車両は、男性一般を一方向的に「潜在的な犯罪者」と見なしており、これは何人も罪を犯す前は無辜の者として扱わなければならない推定無罪の原則から逸脱している上に、属性（男性）差別にあたり、男性全体に対しての人権侵害である。
一方（女性）の人権を守るために他方（男性）の人権を侵害することが許容される社会ではあってはならない。

- 近年益々重視されるダイバーシティ（多様社会）の実現、ジェンダーバイアス（性別に基づく偏見）の解消、また LGBTQ+の人々の抱える心理的課題などの視点からも、女性専用車両に傾重した犯罪対策からは脱却することが重要である。

当会として、此度の貴社の女性専用車両の運用があまりにも乗客のことを無視した強引な運用になっていることから、当会にも貴社への批判的な声が届いているため、抗議および、女性専用車両の廃止を要求するものであります。

つきましては、貴社に対して下記の通り質問および、要望をいたします。

【質問事項】

1. 貴社では男性客の個別の事情等を全く顧みず、未だに個別に声掛けしているようですが、直通先の J R 東日本や東急電鉄を始め、東京メトロや都営地下鉄、東武鉄道などでは昨今は「男性客が女性専用車に乗っている場合でも個別に声かけを行わないことになっている。」と回答しており、実際に当会男性会員が上記鉄道会社の女性専用車に乗っても声かけされません。

にも関わらず、貴社ではどうして未だに女性専用車に乗る男性に率先して個別の声かけを行うのでしょうか？

2. 貴社の女性専用車は以下のように運用されていると認識していますが、これが全国一複雑な運用となっており、乗客にとって混乱の原因となっています。

(1) 貴社線内で完結する横浜方面行きの列車では、7:00～9:00 の間に横浜に到着する列車の最後尾車両で実施

(2) J R 線に直通する列車では、大崎に 7:20～9:30 の間に到着する列車の最後

尾車両で実施

- (3) 東急線東横線に直通する列車では、始発～9:30 の間に運行される列車の先頭車両で実施し、9:30 で一斉終了
- (4) 東急目黒線に直通する列車では、女性専用車の運用自体なし。

どうしてこのような複雑な運用にしてまで、防犯カメラなど乗客に何ら負担を負わせない手段を迷惑行為の対策として選ばずに、特に男性客に多大な負担を負わせる女性専用車という手段をあえて選ぶのでしょうか？

- 3. 首都圏の主な鉄道事業者では、オリンピック開催というきっかけから昨今度々起きている列車内での凶行事件をきっかけにして「〇年まで設置率〇%を目指す」など数値目標を掲げて、あらゆる迷惑行為等への抑止力（埼京線で抑止効果は実証済み）となる車内防犯カメラの導入が進んでいます。

しかし、貴社については防犯カメラを増備するというニュースを全く聞きません。

反面、女性専用車両関連のニュースはよく聞きました。

このことから、女性専用車両では痴漢犯を列車自体に乗せないようにしているわけではないため、女性専用車両以外の車両で痴漢が発生するだけで、女性専用車両に乗るAさんの代わりに、他の車両に乗るBさんが痴漢被害にあうだけという、被害者が変わるだけで、痴漢を減らせない、抑止力にすらなっていないので、痴漢対策とは言えない女性専用車両の運用には拘っているのに、それに対してあらゆる迷惑行為への抑止力となりうる防犯カメラには貴社は興味がないとお見受けしますが、それはどうしてなのでしょう？

【要望事項】

1. 現在において、女性専用車両が実施されている路線は将来的に女性専用車両の縮小・廃止してください。
2. 既に女性専用車両が導入されている路線について、当該車両は何ら法的な根拠に基づかない車両であることから、障がい者をはじめ、その他あらゆる事情を持った、またはこの車両に協力の意思を持たない男性が乗車しても不測の事態を招かないよう、適切な表示・案内等をもって、女性専用車両は任意協力である旨の周知を徹底してください。
3. 早急に貴社路線の全車両へ、迷惑行為が6割も減少した実績がある車内防犯カメラの設置をし、車内において迷惑行為を受けた利用客が被害を申告しやすいよう、一步踏み込んだ通報・相談体制を整えてください。
4. 毎日、ラッシュ時間帯には警察官や警備員等による「見せる警備」、併せて私服警察官や警備員による覆面警乗を行い、すべての利用客が安心して利用できる鉄道にしてください。

以上、質問および、強く要望をいたします。

質問事項につきましては、2023年9月30日までに回答を要求いたします。

以 上

【返信先】

〒104-0061

東京都中央区銀座2-14-8

ML20030622

女性専用車両に反対する会

MAIL : info@oawc.sakura.ne.jp